



## ～ 年頭に当たって ～

明けましておめでとうございます。

青少年育成指導員の皆様をはじめ、各関係機関の皆様には青少年の健全育成につきまして、多大なご理解とご協力をいただき、深く感謝いたします。

昨年は新型コロナウイルスの影響で、育成指導員総会などの多くの行事や活動が制限されてしまいました。年明けの現在でも、終息の見通しが立っておらず、今後の活動に支障をきたすかも知れません。しかし、こういう困難の中だからこそ、我々大人が協力して、問題を解決していく姿を、子どもたちに見せて行かなくてはならないと思います。

また、昨年の漢字に「密」が選ばれました。清水寺の森貫主は『密という字には親しみという意味が含まれているので、物理的には離れていても心はさらにしっかりとつながりをもっていきたいです』と語られました。まさに我々が、心がけていきたい「繋がり」の大切さを再確認させていただいた言葉でした。

本年も子供たちの育成に、ご協力をよろしくお願いいたします。

浅口市青少年育成センター 一同

## 浅口市青少年育成センター実施



### パトロールによる「指導・注意」件数【月別状況】

(「声掛け」対応範囲の件数は除く)



◆4月から11月末までの累計数が、昨年度より大幅に減少。(昨年度は増加していた)

2019年度⇒358件

2020年度⇒232件

◆新型コロナウイルスの影響で、4月5月は臨時休校となり、大幅に減少しているが、それ以降も減少傾向にある。

◆「指導」対象行為区分で、最も多いのは「交通」関係で、本年度「喫煙」は今のところ0件という嬉しい結果となっている。

## 受容と要求

15年ほど前に、中3の時の担任の先生からお手紙をいただきました。恐縮ですが、その内容を掲載させてください。手紙にはまずこの内容が書かれていました。

～教育とは受容と要求のバランス～

(岡山大学教育学部・木原孝博先生の著書より)

右の図は教師の4タイプを受容と要求という観点から示しています。

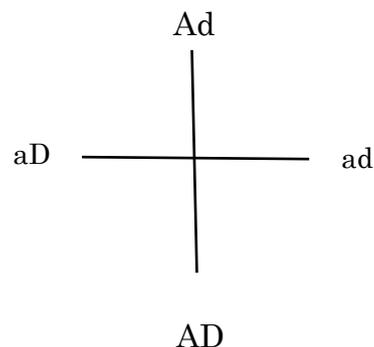
aDは受容もしなければ要求もしないタイプ、言い換えると「やる気なし」の教師

Adは受容をしっかりし、要求は少ない・・・このようなタイプで生徒の自己実現が図れば一番良いのですが。

aDは需要は少し、要求ばかりするタイプ

ADは需要もするが、要求もしっかりするタイプ

続いて・・・



A = accept (受容)  
D = demand (要求)

どの生徒にも良いところがいっぱいあるのですから、授業中、一人一人の生徒に寄り添って親身になってやれば変わるはず。いくらよい指導技術を持っていても、人間としてのふれあいが言動として出なければ授業は成立しません。これは授業における直接指導といいます。もうひとつは廊下ですれ違った時とか、放課後とかにする生徒指導、つまりこれは間接指導ということになります。この両面が必要です。教育とは人を大切にすることです。そして、手紙の最後に禅宗の言葉が添えられていました。



鳥には空気が見えない

魚には水が見えない



人間には自分が見えない

時に自分を疑い、外から自分を見なくてはいけないと、教えられた気がしました。

また、昨年11月に行われた「備中県民局管内青少年健全育成のつどい」で、講師の桐野志摩美さんは最後にこう言われました。

我々大人の役割は、見守ることと、受け入れることだと思います。

天皇陛下がまだ皇太子だった、平成17年2月21日（お誕生日）に、記者会見でお読みになった詩です。

「子ども」  
 批判ばかりされた子供は  
 非難することをおぼえる  
 殴られて大きくなった子どもは  
 力に頼ることをおぼえる  
 笑いものにされた子どもは  
 ものを言わずにいることをおぼえる  
 皮肉にさらされた子どもは  
 鈍い良心の持ち主となる  
 しかし、激励をつけた子どもは  
 自信をおぼえる  
 寛容にであつた子どもは  
 忍耐をおぼえる  
 称賛を受けた子どもは  
 評価することをおぼえる  
 フェアープレーを経験した子どもは  
 公正をおぼえる  
 友情を知る子どもは  
 親切をおぼえる  
 安心を経験した子どもは  
 信頼をおぼえる  
 可愛がられて抱きしめられた子どもは  
 世界中の愛情を感じ取ることをおぼえる

ドロシー・ロー・ノルト